

## 藤田医科大学病院 院内がん登録 2022 年診断症例集計報告

### 1. 登録対象・方法

- ・入院、外来を問わず、がんの診断・治療等を目的に当院を受診された患者さんが登録の対象となります。
- ・「がん診療連携拠点病院等 院内がん登録 標準登録様式 2016 年版」に準拠し、1 腫瘍 1 登録の原則に基づき登録しています。
- ・登録となる腫瘍の種類は「国際疾病分類-腫瘍学第 3 版（ICD-O-3）」における形態コードが 2（上皮内）もしくは 3（悪性、原発部位）に加え、良性を含む脳・中枢神経系腫瘍、消化管間質腫瘍（GIST）、境界悪性の卵巣腫瘍の一部等です。

### 2. 集計対象

- ・2022 年 1 月 1 日～2022 年 12 月 31 日に診断された症例です。
- ・院内がん登録全国集計に基づき、症例区分 80（その他）を除いて集計しました。

#### <症例区分>

10：診断のみ	自施設で診断したが、治療の施行は他施設へ紹介・依頼した場合
20：自施設診断・自施設初回治療開始	自施設で診断および初回治療に関する決定をし、腫瘍そのものへの治療を開始した場合（“経過観察”の決定および実行した場合も含む）
21：自施設診断・自施設初回治療継続	自施設で診断した後、他施設で初回治療が開始され、その後、自施設で初回治療の一部を実施した場合（自施設での“経過観察”の実行は含まない）
30：他施設診断・自施設初回治療開始	他施設で診断された後、自施設を受診し、自施設で腫瘍そのものへの治療を開始した場合（“経過観察”の決定および実行した場合も含む）
31：他施設診断・自施設初回治療継続	他施設で診断した後、他施設で初回治療が開始され、その後、自施設で初回治療の一部を実施した場合（自施設での“経過観察”の実行は含まない）
40：初回治療終了後	他施設で初回治療終了後に自施設を受診した場合 自施設受診後の治療の有無は問わない
80：その他	10～40 のいずれにも分類できない場合 他施設診断症例で治療目的に紹介されたが、自施設では治療は行わず、他施設へ紹介した場合も含まれる

### 3. 集計方法

- ・国立がん研究センターへの提出データ（全国集計）を利用して集計しています。当院独自で集計を行っているため、全国集計の集計値と差異がある場合があります。
- ・国立がん研究センターより公表されている集計報告書に従い、10 件未満の集計値は実数での公表を行わないことにいたします。10 件未満の場合は、（1-3）、（4-6）、（7-9）と表記しております。

#### 4. 集計項目

● 部位別登録数

下記の部位分類コード対応に基づき、上皮内がん等を含み集計しました。

部位名	第 1 段階 ICD-O-3 形態コード	第 2 段階 ICD-O-3 部位コード
口腔・咽頭		C00-C14
食道		C15
胃		C16
大腸		C18-C20
肝・肝内胆管		C22
胆嚢・胆管		C23-C24
膵臓		C25
喉頭		C32
肺（気管および気管支含む）		C33-C34
骨・軟部組織		C40-C41、C47、C49
皮膚（悪性黒色腫含む）		C44
乳腺		C50
子宮頸部		C53
子宮体部		C54
卵巣		C56
前立腺		C61
膀胱		C67
腎・他の泌尿器		C64-C66、C68
脳・中枢神経系		C70-C72、C751-C753
甲状腺		C73
悪性リンパ腫	959 - 972、974 - 975	形態参照
多発性骨髄腫	973、976	形態参照
白血病	980 - 994 ※982 - 983 を含む	形態参照
他の造血器腫瘍	995 - 998、999	C421
その他	第 1 段階、第 2 段階で変換された以外の症例	

●来院経路

10：自主的受診	他施設の紹介等ではなく、当該腫瘍や関連症状に関して自主的に自施設を選択して、初診した場合。
20：他施設からの紹介	他の施設（異なる施設に属する検診機関等も含む）からの紹介で、初診した場合。
30：自施設での他疾患経過観察中	自施設で他疾患による経過観察中に、がんと診断あるいはがんが疑われた場合。
80：その他	10,20,30 に当てはまらないもの。剖検で発見された場合を含む。
99：不明	診断にいたる発端が不明の場合。

●発見経緯

1：がん検診・健康診断・人間ドック	市区町村が実施する「がん検診」の他、老人健康診査や自主的に受診する健康診断あるいは人間ドックでの結果により、医療機関を受診した場合。
3：他疾患経過観察中の偶然発見	自施設、他施設を問わず、他の疾患で経過観察中に実施された検査などにより、偶然発見されたもの。
4：剖検発見（Aiを含む）	死体解剖（剖検）ではじめて診断された場合。
8：その他	1,3,4 に当てはまらないもの。（自覚症状による受診を含む）
9：不明	診断にいたる発端が不明の場合。

●診断時住所

下記の地域区分に基づき集計しました。

① 北海道	② 東北	③ 北関東	④ 南関東
⑤ 東海	⑥ 北陸	⑦ 近畿	⑧ 中国
⑨ 四国	⑩ 九州	⑪ 沖縄	⑫ 外国

下記の二次医療圏区分に基づき集計しました。

① 名古屋・尾張中部	② 海部	③ 尾張東部	④ 尾張西部
⑤ 尾張北部	⑥ 知多半島	⑦ 西三河北部	⑧ 西三河南部東
⑨ 西三河南部西	⑩ 東三河北部	⑪ 東三河南部	

●（UICC TNM）治療前ステージ

UICC（The Union for International Cancer Control：国際対がん連合）の定めるTNM病期分類方法に基づき、何らかの治療が行われる前に診断されたステージを指します。当報告書では、当院で初回治療を行った症例（経過観察を含む）について集計しました。

なお、「不明・該当せず」には、ポリープなど他疾患治療中に発見された症例や前医で治療がなされた症例で治療前ステージが不明、またはUICC第8版に該当する分類がない場合などを含みます。

● (UICC TNM) 治療前ステージ 治療件数

下記の治療方法の区分に基づき集計しました。

① 手術	外科的治療、鏡視下治療のいずれかまたは両方を実施
② 内視鏡	内視鏡的治療を実施
③ 手+内	手術と内視鏡を実施
④ 放射線	放射線治療を実施
⑤ 薬物療法	化学療法、内分泌療法のいずれかまたは両方を実施
⑥ 放+薬	放射線と薬物療法を実施
⑦ 薬+他	薬物療法とその他の治療 <sup>※1</sup> を実施
⑧ 手/内+放	手術または/かつ内視鏡と放射線を実施
⑨ 手/内+薬	手術または/かつ内視鏡と薬物療法を実施
⑩ 手/内+他	手術または/かつ内視鏡とその他の治療を実施
⑪ 手/内+放+薬	手術または/かつ内視鏡と放射線と薬物療法を実施
⑫ その他	上記①～⑪に当てはまらないもの
⑬ 治療なし	経過観察または緩和的治療のみ実施

※1 その他の治療：肝動脈塞栓術、アルコール注入療法、温熱療法、ラジオ波焼灼を含むレーザー等焼灼療法など